

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価																				
データ 分析 表	データ表			データグラフ <table><thead><tr><th>項目</th><th>平均</th></tr></thead><tbody><tr><td>「乳児保育」</td><td>4.87</td></tr><tr><td>「3歳未満児保育」</td><td>4.81</td></tr><tr><td>「3歳以上児保育」</td><td>0.00</td></tr><tr><td>「教育保育の配慮事項」</td><td>5.00</td></tr><tr><td>「健康・安全」</td><td>4.21</td></tr><tr><td>「子育ての支援」</td><td>4.61</td></tr><tr><td>「職員の資質向上」</td><td>4.22</td></tr></tbody></table>	項目	平均	「乳児保育」	4.87	「3歳未満児保育」	4.81	「3歳以上児保育」	0.00	「教育保育の配慮事項」	5.00	「健康・安全」	4.21	「子育ての支援」	4.61	「職員の資質向上」	4.22
	項目	平均																		
	「乳児保育」	4.87																		
	「3歳未満児保育」	4.81																		
	「3歳以上児保育」	0.00																		
	「教育保育の配慮事項」	5.00																		
	「健康・安全」	4.21																		
	「子育ての支援」	4.61																		
	「職員の資質向上」	4.22																		
	内容	項目数	平均																	
「乳児保育」	15	4.87																		
「3歳未満児保育」	26	4.81																		
「3歳以上児保育」	0	#DIV/0!																		
「教育保育の配慮事項」	9	5.00																		
「健康・安全」	29	4.21																		
「子育ての支援」	18	4.61																		
「職員の資質向上」	9	4.22																		
計	106	4.58																		
総合 評価	若い職員が中心となる園であるため、様々な判断を間違える場面もあったが、非常勤職員も含めチームとして仕事をしていくことを意識することで、後半になり、怪我などが減っていき、それは保育に意識を向けていける時間の確保につながっていった。それぞれが、自分の役割を意識し、それぞれが中心となって保育をすすめていけるよう声をかけながら、大事なポイントをしっかりと伝えていきたい。																			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
地域との「信頼」の構築	地域計画策定委員会のワークショップに参加し、虐待を発生させない職場づくりをしていく（年2回）
保護者との「信頼」の構築	アンケートや懇談会を通し、満足度を把握し、よりよい保育につなげていく（アンケート年2回）
こどもの人権についての学び	こどもの人権について考える機会をもち、自身の保育を振り返る（年2回園内研修実施）